

クボタのSDGsへの取り組み



食糧 ・ 水 ・ 環境

美しい地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしをこれからも支えていくことを約束します。1

Since 1890(明治23)年～ 創業128年

- 一、総合力を生かしすぐれた製品と技術を通じて**社会の発展につくそう**
- 一、会社の繁栄と従業員の幸福を希って **今日を築き明日を拓こう**
- 一、創意と勇気をもって**未知の世界に挑戦しよう**



創業者 久保田権四郎

- 自分の魂を打ち込んだ**役立つ品物**を創りだすこと。
- 技術的に優れているだけでなく、**社会に役立つ**ものを創りだすこと。



技術また、其の品物には正しき意味に於ける
商品価値を具現せしむること。

商品価値＝ビジネスで貢献

人が生きていくために必要なものを商品化すること。

環境



生活・住環境をよりよくすること
都市環境・住環境の整備



水



人が生きていくために必要不可欠なもの

食糧



創業時は水・衛生へ貢献

For Earth, For Life
Kubota

1890（明治23）年に創業し、コレラ等の水系伝染病の被害撲滅のために
1893（明治26）年には、水道用鑄鉄管の試作と研究を開始し国産化に成功。



水

6 安全な水とトイレ
を世界中に



戦後は食料・環境へ

1947（昭和22）年、戦後の食料不足時代に耕うん機の商品化に成功

1957（昭和32）年、住宅建材事業へ進出

1962（昭和37）年、上水・下水などの環境整備事業へ進出



クボタロータリー式耕うん機



モビルクレーンKM40形



畑作用乗用トラクタT15型

食糧



環境



壁材、屋根材



浄化槽



膜分離活性汚泥法(MBR)

海外の水への貢献

For Earth, For Life
Kubota



1960（昭和35）年 **カンボジア**・プノンペン市
共同水栓から水くみをするプノンペンの女性たち



1989（昭和64）年 **トルコ**
半乾燥地域で新しい農業を、節水型かん
がいとポンプ



1992（平成4）年 **バングラデシュ**・ベラ市
洪水にも干ばつにも負けぬ、インフラの
起点“ポンプ基地”



1993（平成5）年 **中国**・北京市
首都の水を支える生命線



1998（平成10）年 **イギリス**
下水処理の先進国を支える液中膜技術



1998（平成10）年 **エジプト**
ナイル川の水を利用したかんがい施設の
整備フローティングポンプ場

海外の水への貢献

For Earth, For Life
Kubota



2002（平成14）年 **アラブ首長国連邦 アブダビ**
砂漠の国の人々に水を届ける



2009（平成21）年 中東 **ヨルダン**
死海の塩分は海水の8倍以上、
それでも負けない取水ポンプ



2010（平成22）年 **ベトナム・ホーチミン市**
東南アジアで急伸するクリーンな水へのニーズ
に応える病院向け浄化槽



2011（平成23）年 **タイ** チャオプラヤ川
復興の立役者、タイで日の丸を背負った
排水ポンプ



2013（平成25）年 **米国・カントン市**
北米最大級の水再生処理施設



2013（平成25）年 **バングラデシュ**
カルナフル川からチッタゴン市への
送水管の建設工事

海外の水への貢献

For Earth, For Life
Kubota



2014（平成26）年 エジプト・ギザ市
母なるナイル川のほとり、ピラミッドの
街に飲み水を



2014（平成26）年、カタール
海水淡水化プラントからの送水管



2015（平成27）年 中東 オマーン
アルアンサブ下水処理場に
中東最大の下水膜処理装置を建設中



2015（平成27）年 ミャンマー
ティワラ地区工業団地の取水・給水配管
の供給と上下水処理施設を一括受注



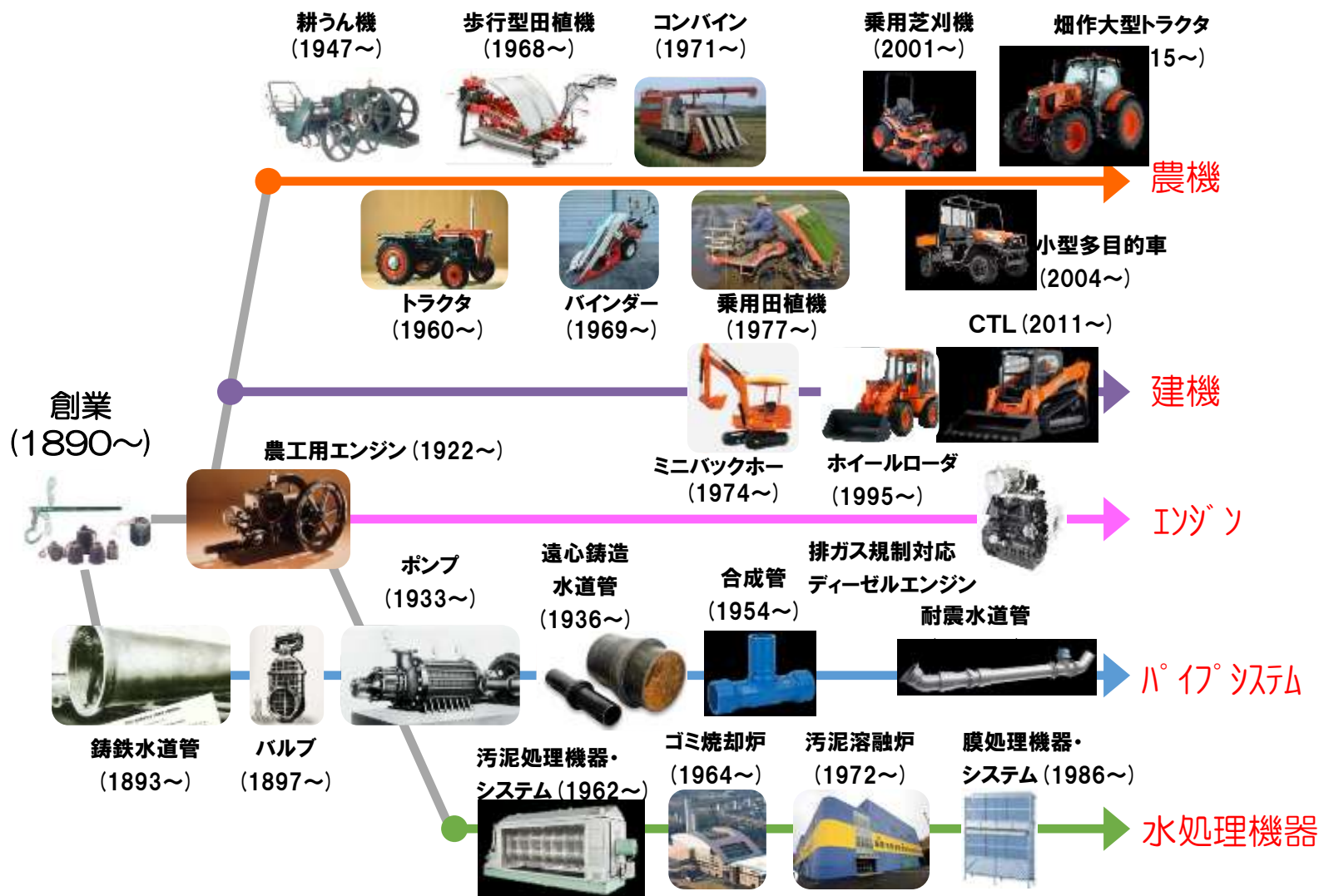
2015（平成27）年 マレーシア
パーム油の廃液からできた、環境を守る
エネルギー



2016（平成28）年 米国・シリコンバレー
導送水管で採用された米国初の大口径
耐震継手管

クボタの歴史はSDGsの歴史

For Earth, For Life
Kubota



食糧



環境



食糧



水

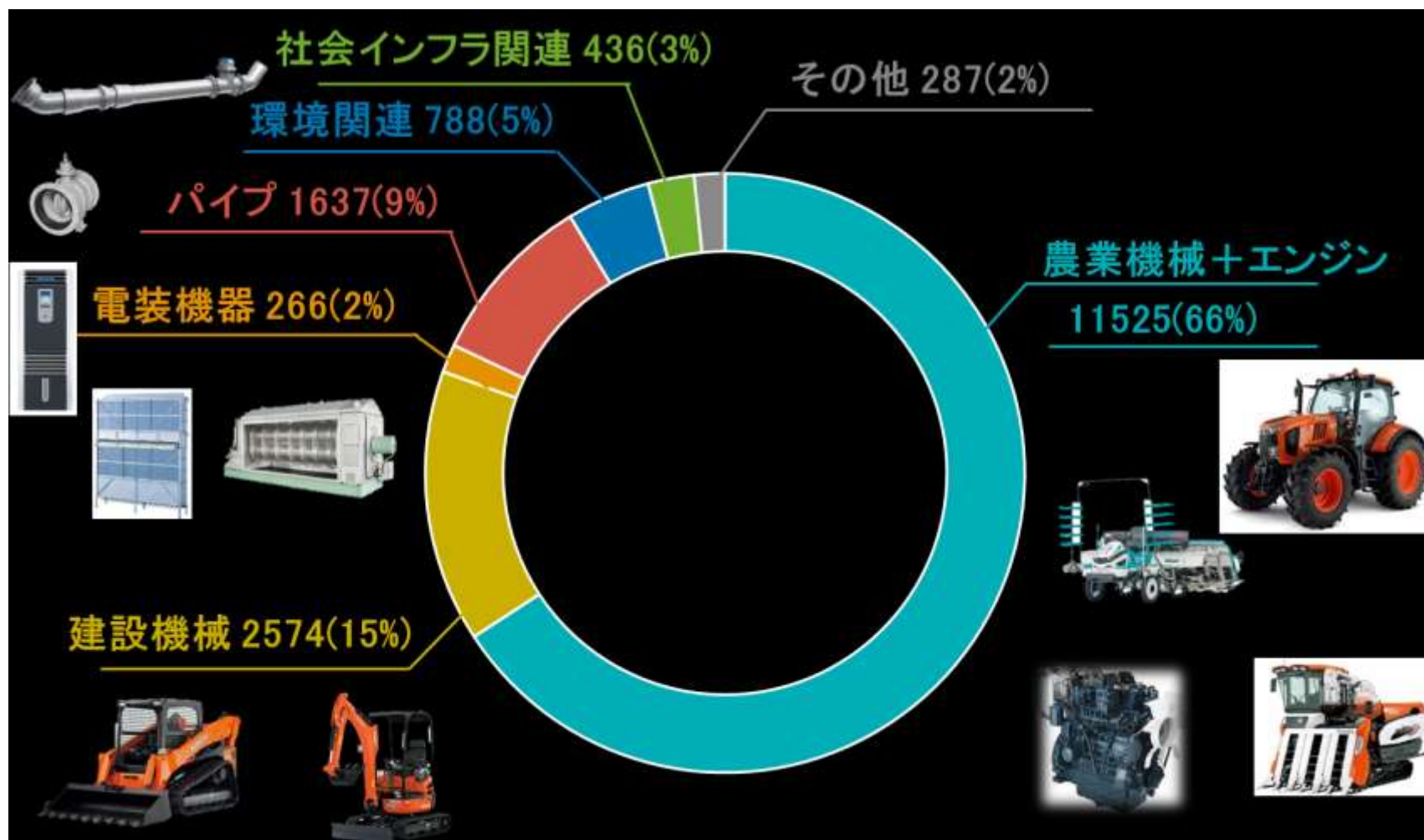


水



事業別の売上（億円）

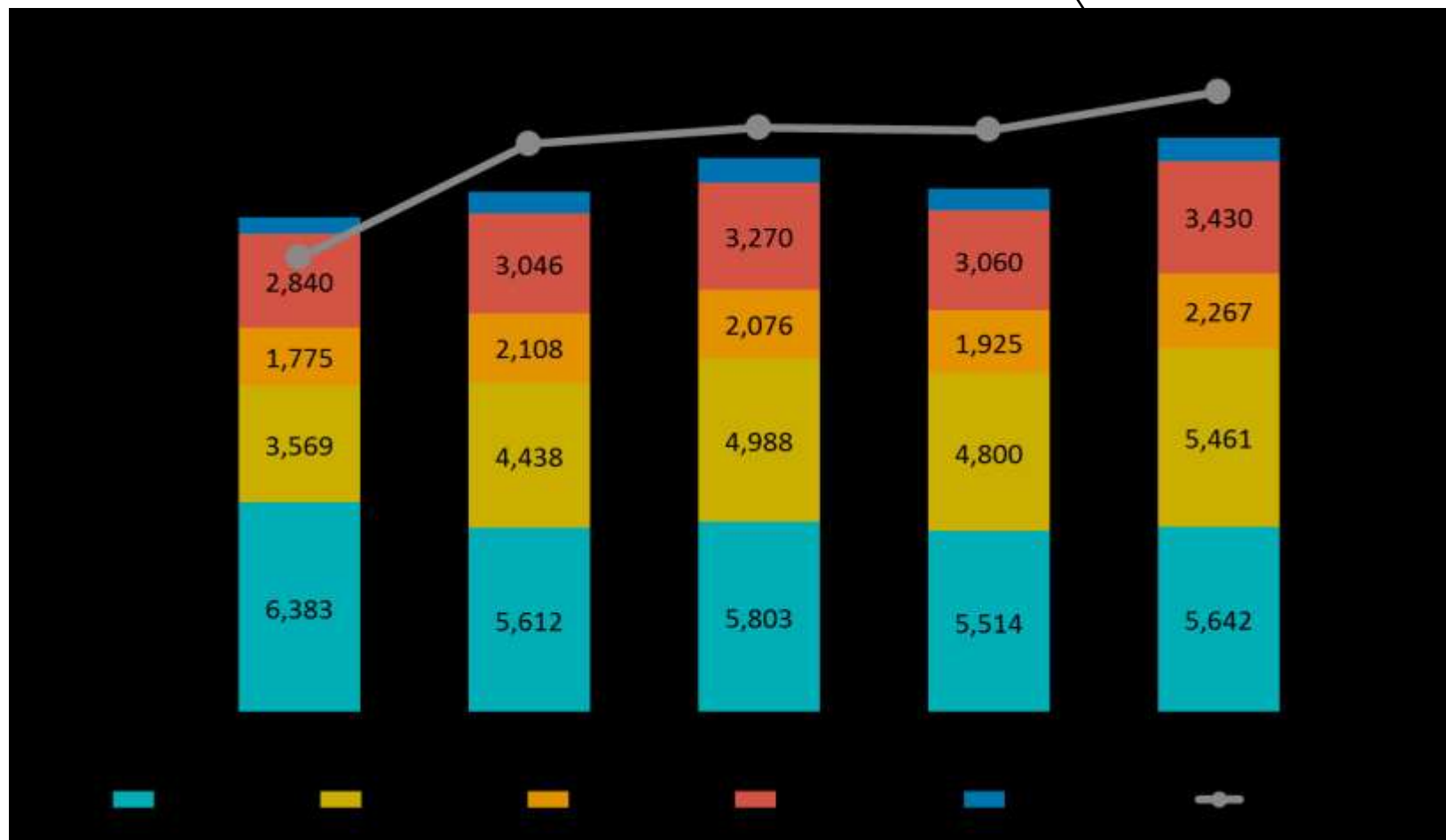
農業機械、エンジン、建設機械で81%、パイプ、環境、社会インフラで17%



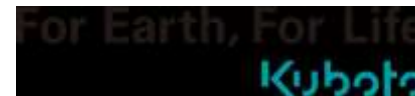
世界の地域別売上推移（億円）

海外比率は約7割で増加、国内は約3割で減少。

海外比率

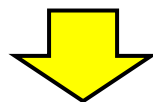


経営方針への取り組み



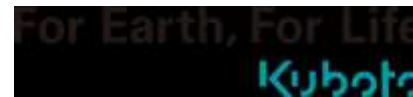
2018年の経営方針に新たな重点指示事項として、SDGs への取り組みを掲げた。

- これら目標への貢献は、「For Earth, For Life」を標榜し、「食料・水・環境」を事業領域とする当社にとって**最優先すべきテーマのひとつ**です。
- また、**SDGsへの取り組み**を通じて新たな事業機会を獲得し、CSR経営をレベルアップすることは、GMBクボタの実現にも大きく寄与します。
- 事業部門およびコーポレートスタッフ部門は、**SDGsへの理解を深め**、それら目標と自部門活動との関係を明確にして目標達成への貢献策を策定してください。



ビジネス・企業成長の羅針盤

GMBKubotaとSDGs



Global Major Brand Kubota（グローバル・メジャー・ブランド クボタ）

➤ 売上や利益で世界のトップを争うブランドである。

➤ お客様から最も信頼されるブランドを目指す。

SDGs

- ①「感動を与える製品」
- ②「感動を生み出す工場」
- ③「お客様第一主義」
- ④「創意と勇気で未知の世界に挑戦する」



SDGs を基軸とした取り組み



到達点の設定とギャップの解消

2030年の望ましい到達点を設定して、現状とのギャップを埋めていく方法

食糧

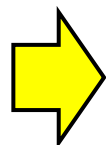
例えば農業の効率化
水使用 50%
肥料 50%
人手 50%

水

例えば管路やプラント
工事工期 50%
維持管理 50%
遠隔監視 100%

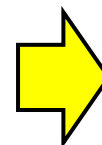
環境

例えば建機やエンジン
排ガス 50%
化石燃料 50%



ギャップを埋める

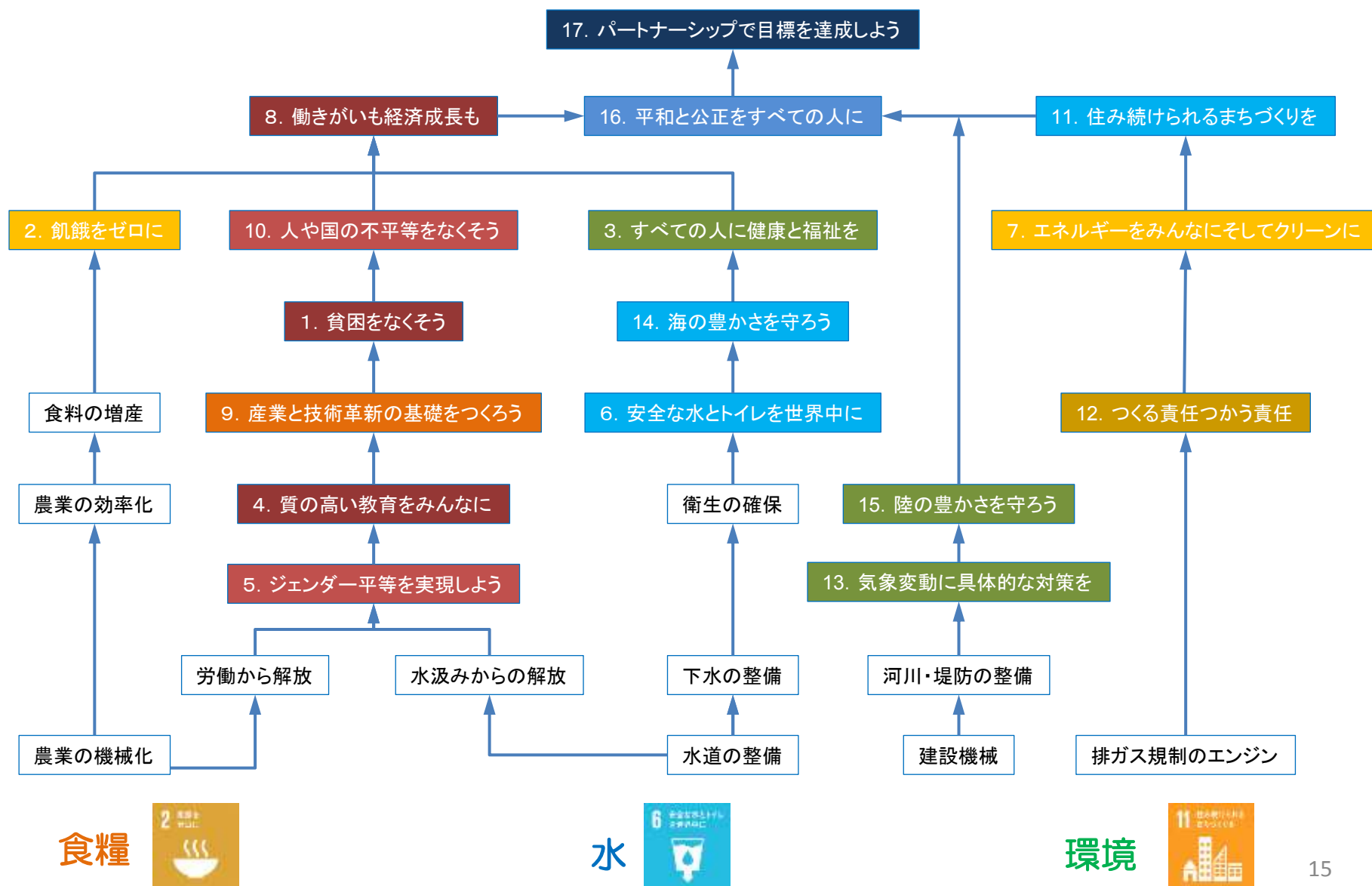
- ・製品
- ・技術
- ・サービス



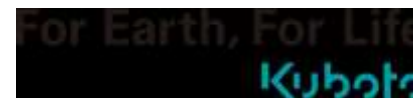
SDGsの達成

2030年の望ましい姿
(イメージです。)

食糧・水・環境とSDGs



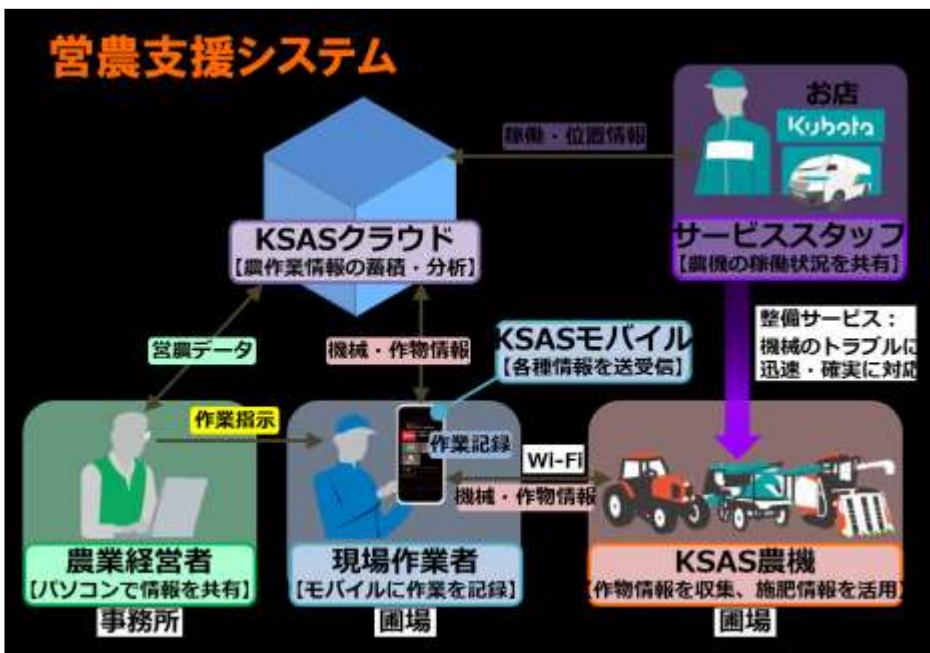
I o T 技術の活用による連携/協働



企業と顧客（ステークホルダー）をI C T、I o T 技術などで結んで実現。

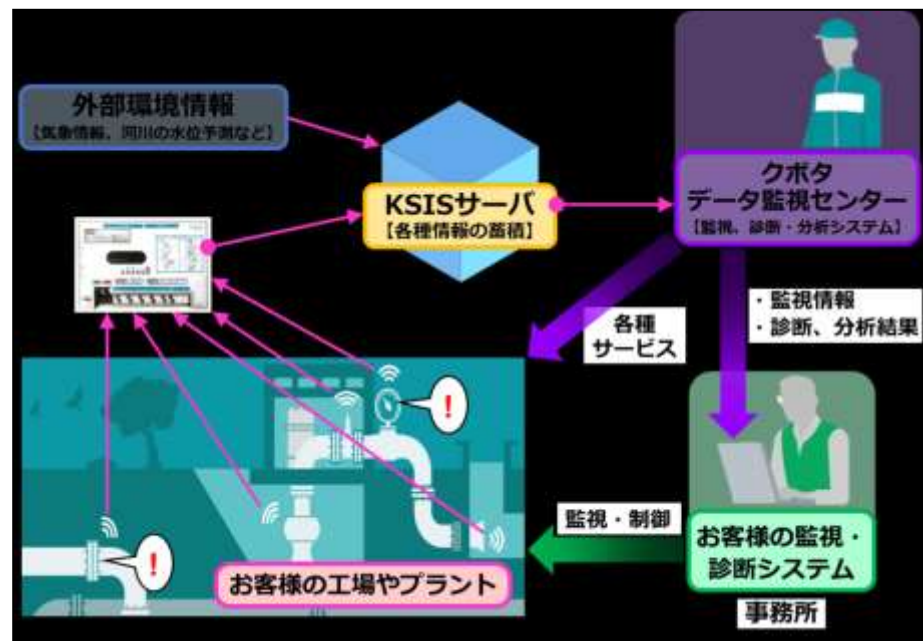
農業機械

KSAS（スマート アグリシステム）



パイプシステム・水環境

KSIS（スマートインフラシステム）



クボタのESG経営評価



国際ESG投資調査機関の評価を挙げていくことが今後は必要である。

- 「CDPウォーター(※)」において、**最高位のAリスト企業**に選定されました。
グローバル73社、うち**日本企業は12社**が選定されました。
- ESG投資家の動向に大きな影響力を持つ「GPIF」(年金積立金管理運用独立行政法人)の国内株式運用機関が選ぶ「**優れた統合報告書**」70社と「**改善度の高い統合報告書**」68社が発表され、クボタも選出されています。
- Sustainalytics社(オランダ)の100点満点評価で73点 **業界16/164社**
- 「東洋経済オンライン」**ESG企業ランキングトップ100**で**40位**に選定されました。
CSR分野の「人材活用」、「環境」、「企業統治」、「社会性」、「財務」(収益性、安全性、規模)を加え、総合ポイント600点満点でランキングを作成している。



※CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト) とは
CDPIは、企業や都市の気候変動対応や水資源の管理、森林保護に関する調査を通じて取り組みの促進を図っている
国際的な非営利組織。資産総額100兆米ドルに及ぶ機関投資家と協働している。

ご清聴ありがとうございました。

Sustainable Development Goals



For Earth, For Life
Kubota